

# おい書館

No. 9

## 市民会議へ

### 提言

十月中、才五次五ヶ年計画に向けての市民会議が市内十ヶ所で開催された。会のメンバー七名が五ヶ所に出席し、中央図書館建設についての要望、意見を述べた。

会議に先立って送付された資料の「市内公共施設の利用状況」によると、利用才一位は図書館、二位は一般の公園、三位は市民センターであり、図書館が世代を越えて市民に広く利用されていることを示していた。会議では先ず、企画部から計

画全体のおおよその説明があった。図書館については、市民会館を取壊し、その跡地に生涯学習センター・図書館・市民ギャラリー併設の複合施設を造る計画とのことだった。



### 各地区 出席者の発言

十月一日

#### 明才一地区

渡辺 毛利

「おい図書館」の会の紹介し、こういう市民の声を活用してほしい。町田は三十万都市で六千平米の図書館があるが、一万平米はほしいとのことだ。松戸は四十五万都市にもかかわらず現在の二千平米では狭すぎる。(因に、市民会館敷地は三三三〇

平米程度)

十月五日

#### 明才二地区

藤地 飯高

・図書館協議会を作って、様々な人の声を取り入れてほしい。  
・答へまだ「策」の段階なのでそこまでは考えていない。  
・学校司書(司書教諭)を配置してほしい。

十月十二日

#### 本庁地区

青木

・当会の活動紹介。浦安、町田各図書館について、特に複合施設である町田図書館を詳しく紹介。建設にあたっては準備委員会を設け、先進の図書館を教多く見学し、より良いものを作っ



てほしい。生涯学習センターの機能を持つ図書館、職員が働き甲斐のある図書館にしてほしい。

〈答〉……才四次五ヶ年計画に図書館建設は入っていた。

プロジェクト・チームを作り二年間検討した結果、「六千平米、五十万冊」という数字は出したが、用地確保がとぎず実現しなかった。現在、本館・分館・県立西部図書館を合すると五十万冊になるのど、蔵書数についてはよいのではないか。中央図書館についてはは長期的に考える必要があるが、当面は市民会館跡地とよいのではないか。但し、これはあくまでも「案なので、これからもっと検討していきたい。」

十月十四日

小金地区 鈴木

・図書館は文化センターであるべきだと思う。

・市民会館云々という計画は再考してほしい。

（時間が足りなくなり、答えはもらえず、欲求不満のまま終了。）

十月二十日

五香六実地区 磯村



・中央図書館の建設を実行すると共に、五館の地区館（現在の本館並）の建設を考えてほしい。

・図書館及びその他の公共施設を建設する際には雨水利用を考えてほしい。

〈答〉分館の中、小金・常盤平分館を拡大充実させる。新しく和名ヶ谷分館を作る。松戸に浦安のようなものは無理なので、町田のように複合を考えている。森のホールは雨水利用にしたので、今後も実行したい。（市長答弁）

出席者には更に、要望・意見提案の用紙が渡され、後日、それぞれ思いを書き綴り企画部に宛に提出した。

才五次五ヶ年計画を実施するに当たっての基本理念には「われわれが未来に求め、めざす都市は、文化の香り高い緑豊かな活力ある都市であり、心のふれあう豊かな高福祉都市である」とあり、この理念の実現を強く念願する。（文責 青木）

発行 「おい図書館」

連絡先 青木和子 ☎四三(六七)五三八四

